

日中国交正常化45周年を記念して

11月11日神奈川から東アジアの平和を拓く！

丹羽宇一郎氏講演会

講師の丹羽さんは会場の
かながわ労働プラザに一人
でひよっこり現れました。

県日中友好協会の並木裕之
会長らで丹羽さんを囲んで
会食をしました。丹羽さん
がいつも原稿なしで話され
ることが話題になりました。
今回もそうでした。1
時間澱みなく話されまし
た。

最近の中国の外交戦略に
ついて「中華民族の夢」と
いう表現で近代になって栄
光の座から転げ落ちた中国
が、経済力を向上させて存
在感を高めた今、復権への
自信を深め行動を起こして
いると解説されました。

丹羽さんの中国大使時
代、国交正常化40周年の交
流行事は台無しになりました。
2017年45周年の年
に再挑戦しようと250人
の来場者に呼び掛けまし
た。丹羽さんは「リベンジ
」と言われていました。神
奈川県日中友好協会をはじ
め関係団体に呼び掛けて丹

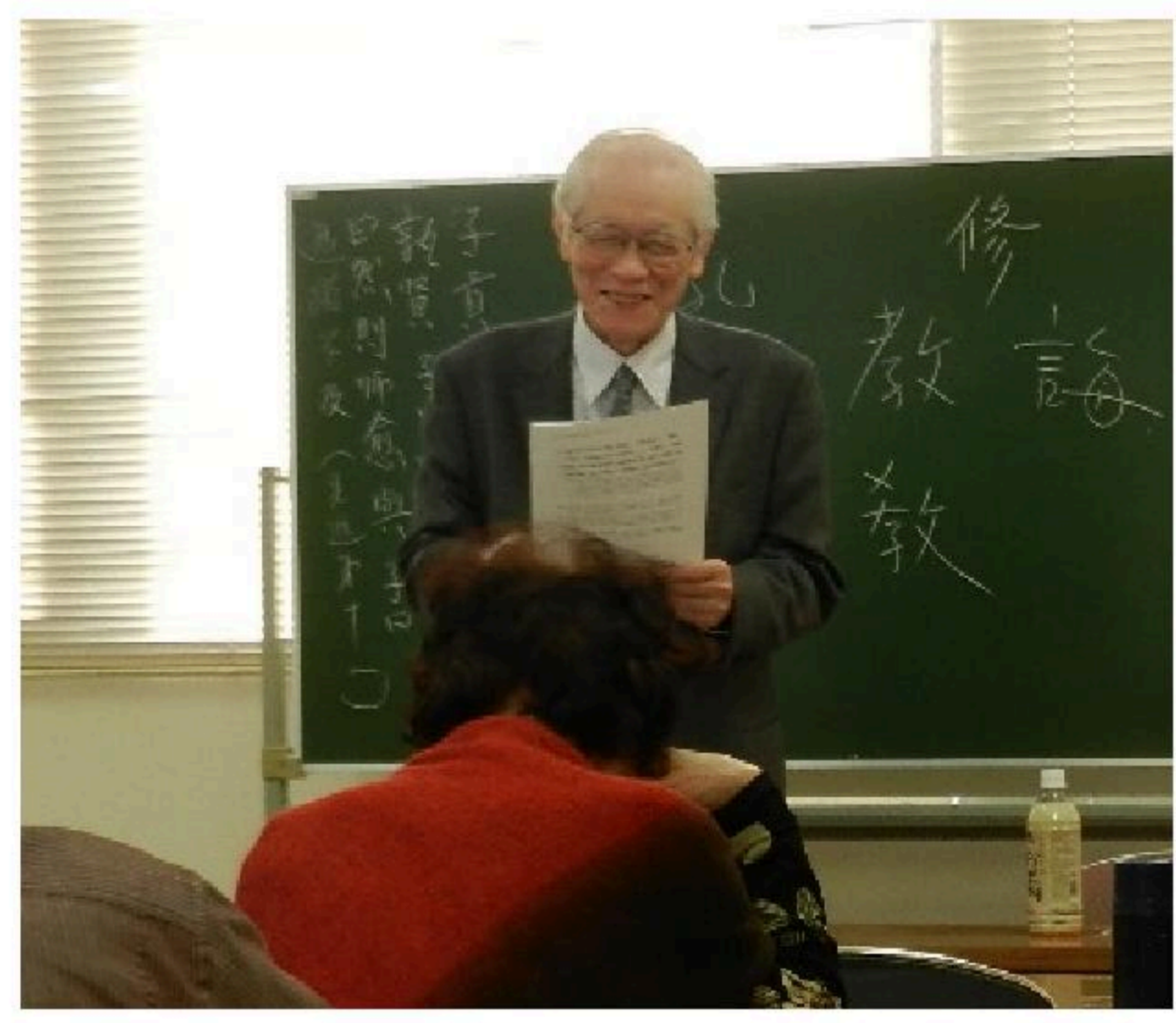
羽さんの熱い思いに心えて
いきましよう。(実行委員会
露木順一)



海老名日中友好協会

現代に生きる「論語講座」

海老名日本中国友好協会
は、中国の人々を理解し友



好を深めるために、日本文
化に大きな恩恵をもたらし
た学問の国中国の古典を勉
強しようと桜美林大学孔子
学院のご厚意で、中国文学
の権威植田渥雄先生に講座
を担当していただき講演会
を開催しています。

昨年と今年は2年続きで
植田先生に「論語」を講義
していたいただきましたが、今
年は「貧富論」「交友論」
が終わり、今「教育論」の
講義が続いています。

毎回、参加者は20名〜25
名ですが、参加者のご感想
を伺うと「生活の中で思い
当たるお話が多くとても勉
強になりました」とか「お
話の脱線の中に教訓が多く
で、先生大いに脱線してく
ださい」など好評です。

この中国古典文学講座は
2か月に1回第4火曜日の
午後2時から4時まで海老
名総合福祉会館で行われて
いますが、今年度の最後は
来年2月です。来年度は受
講者のご意見の大勢で「論
語」をさらに深めることに
しています。(海老名日本
中国友好協会会長 平岡幸
雄)

神奈川徐福研究会

徐福文化、世界遺産登録への動き

2015年10月16日、中
国江蘇省連雲港市カン愉区
(カンは左側に「章」、右側
に「父」「エ」「具」)で、
徐福国際シンポジウムが開
催され、約120人が参加
しました。そのうち日本か
ら15人、韓国から12人が参
加、神奈川徐福研究会から
は、田島会長始め3人が参
加しました。カン愉は徐福
の故郷です。徐福は秦の始
皇帝の命により、不老不死
の霊薬を探しに東の海に出
航し戻ってきませんでした
が、日本では各地に徐福が
来たという伝説が残ってお
り、徐福は日中友好のシン
ボルとされています。

いままでの徐福シンポジ
ウムのテーマは、
歴史や伝説に関するもの
が、今回徐福研究会でも
徐福文化と「徐福文化と一
帯一路



徐福国際シンポジウム
は、「徐福文化と一帯一
路

の交差点建設に関する国際
シンポジウムです。中国
は、「シルクロード経済ベ
ルト」(一帯)と「21世紀
海上シルクロード」(一路)
の二つの地域で、交通イン
フラ整備、貿易促進、資金
の往来を促進していく構想
を持っていますが、今回の
シンポジウムは、「徐福の
精神を宣伝、高揚し、『一
帯一路』の建設を進めるた
めに、徐福の精神はどうい
う働きかけができるかにつ
いてデスカッションし、徐
福精神の伝承及び日中韓友
好交流における貢献を広く
発信する」ことを目的とし
ています。このため日本か
らは経済学者も参加しまし
た。

このシンポジウムで、日
中韓三国における徐福研究
促進、徐福文化を世界遺産
に登録することを目標にし
る協議会(徐福文化国際研
究協議会)を設立すること
が採択されました。神奈川
徐福研究会でも世界遺産登
録に向けて、国内外の徐福
研究団体と交流を深めてい
きたいと考えています。(事
務局長 伊藤健二)